

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1046号
2007年7月29日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

今週・来週の予定

7月29日～9月8日

- 29(日) 聖霊降臨後第9主日
主教巡回
聖パトリック教会
下町G教会協議会
(月島)
- 30(月) 教財務サーブिस委員会
31(火) 幼稚園・保育園保育
者研修会(～8月1日・
大学セミナーハウス)
- 8月
3(金) 職員会議
5(日) 聖霊降臨後第10主日
主教巡回
聖パウロ教会
- 12(日) 聖霊降臨後第11主日
19(日) 聖霊降臨後第12主日
26(日) 聖霊降臨後第13主日
主教巡回 三光教会
大人企画キャンプ(信
仰と生活委員会後援・
～30箱根)
- 31(金) 広報委員会
フェスティバル実行委
員会
- 9月
2(日) 聖霊降臨後第14主日
主教巡回
千住基督教会
聖職養成委員会懇談会
幼稚園委員会
- 3(月) 教区企画室
4(火) 正義と平和協議会運営
委員会
5(水) 月島聖公会将来計画検
討特別委員会(月島)
6(木) フェスティバル第2回
連絡会
- 8(土) 教区事務所夏期休業◇
8月13日(月)～17日(金)

◇堅信受領
7月8日 神愛教会で ▽高
橋美恵子▽山下重美▽孫自強
(神愛)
7月15日 大森聖アグネス教
会で ▽長妻猛▽金明玉(聖
アグネス)

◆教役者レクイエム
8月15日(水) 10時半
主教座聖堂で

説教 司祭 河野裕道
▽司祭関翔▽主教須貝止▽主
教今井正道▽司祭佐久間吉太
郎▽司祭関屋正彦
◆とこしえの平安
5月28日 中川 秀次(61)
聖マーガレット
7月12日 千代修女(99)
ナザレ修女会
7月12日 大蔵 翠(87)

7月12日 大蔵 翠(87)

7月12日 河合 雅子(79) 三光
7月15日 三樹 眞知子(63) 三光
7月16日 藤井るり子(44) 聖アンデレ
目白
▽教区時報休刊 8月中と9月
2日号(9日号から再刊・フェス
ティバル特集号の併刊予定)。

7月12日 河合 雅子(79)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

六十年前のあの日から、この日は特に

平和を憶え平和を求める日となった。「終戦」でも「敗戦」でも、あの日をどう呼ぼうと、あの日は一つのことを悲痛にも全国民で悟った日であったはずだ。自分たちの国家がみずから決断して始めた破壊と殺戮と暴力

《平和メッセージ》

八月十五日を迎える

主教 植田仁太郎

は、他の国、他の民族の人々に対しては言うまでもなく、国家にそれなく、許し、結局みずからもその破壊と殺戮と暴力をこうむることになった日本の私たちにとつても、その理由や目的を全く正当化できるものではないと、悟った日である。そしてその悲痛な認識は、数年を経ずしていわゆる「平和憲法」として、わたしたちの思想的財産となって引き継がれ

ることとなった。

二度の世界大戦を防ぎ得なかつたキリスト教会とその神学の営みも、厳しい反省を迫られることになった。その反省は、私たちの信仰の表現をする時にも、な

るべく「戦い」「滅ぼす」「兵士」「勝ち取る」などの戦争のイメージにつながる言葉や概念を用いないようにするという努力にも表れている。残念ながら、イスラエル民族の

民族神話の性格を色濃く持つ旧約聖書は、「万軍の主」「滅ぼす」など戦争と殺戮は、是認の物語に満ち満ちている。そのことが、永い教会の歴史の中で、神のため、キリストのために「戦う」考えを良しとしてしまふ間違いを、気付かせなかつたのかも知れない。

(東京教区主教)

▽信仰と生活委員会主催「ナヌム(分かち合い)の旅」 大韓聖公会ソウル教区の支援を得て「信仰と生活」の視点からの自主企画で、10月13日(土)～17日(水)の4泊5日、同教区での祈りと学びと交流を深めるプログラム。委員長井口諭司祭らスタッフのほか16人の参加を募集している(8月20日締め)。費用8万5千円。9月1日(土)に準備会、その他案内書参照。現地では通訳付。照会などは教区宣教主事宛に。

▽幼稚園・保育園保育者研修会 教区幼稚園委員会主催で7月31日(火)～8月1日(水)、八王子・大学セミナーハウスで開かれる。テーマは「聖公会ってどんな教会・お祈りの作り方は」は。講師・前田良彦司祭(聖

マルコ教会)。

▽聖パウロ教会で平和の鐘

一緒にならそうと教会員たちと呼び掛けています。8月6日8時15分・広島原爆、9日11時2分・長崎原爆各投下時、15日正午・敗戦記念日。

▽池袋聖公会・敗戦記念日礼拝

今年も8月15日(水)、味わい熱い「すいとん」とともに平和を祈る記念日礼拝がささげられる。18時礼拝、18時半記念講演、19時半懇親会。正義と平和協議会共催。講演Ⅱ下条裕章司祭(聖ヨハネ教会)「平和憲法を生かす働きに関わって～最近学んだこと」思い出したこと。照会電話(会場、03(3986)4709)。

▽日本聖公会人権セミナー 九州教区センター(福岡)・ひのく

【学びと働きから】53

沖縄週間・沖縄の旅

6月末の4日間、沖縄週間沖縄の旅では晴天のもと、南北色々な場所へ行きました。実際にその地に立つてみて、まさしく「百聞は一見に如かず」であることを思い知りました。壕の闇、戦没者の数、戦時中さ迷い歩いた道の果てなき、戦闘機の騒音、辺野古の海。実際に起きたこと、起こっていることのほんの一端を覗いただけにすぎませんが、それらを体感したことで、「平和」の意味をもう一度、考え直す必要性を感じました。驚くことに、今、基地移転問題や教科書問題など、沖縄の新聞で一面を飾る出来事が、本州で

はあまり報じられていません。

「日本」は沖縄を、南国観光地としてしか見ていないのではないのか。かつて独立が叶い騒ぐ「日本」を、まだアメリカ支配下にあった沖縄はどんな気持ちで見ているのか。今「日本」の中における沖縄の位置は一体いずりなのか。正直に言えば今まであまり意識していなかったことに今回、気付かされ、考えさせられました。

今回の旅を通し、私は伝えきれないほど様々なことを学びました。この先多くの方々、特に多くの若者が観光地としてではない沖縄に実際に足を運び、知り、感じていただければと思います。

聖マルコ教会 藤尾真奈

にふれあいセンター(熊本)に宿泊、8月20日(月)～22日(水)。主題「いのちの偏見と差別の中で」。東京教区からは打田茉莉人権委員会委員長らが参加する。

▽浦安セミナー 市川聖マリヤ教会(横浜教区浦安集会)・聖公会神学院共催で開講されているキ

リスト教基礎講座は、秋の第三期を迎え9月15日～11月17日の計5回(毎回土曜14時半～16時)、JR新浦安駅前WAVE101市民サロンで引続き…。今期の主題は「信仰と生活」で、①「土の塵」(神の像としての人間理解)②「希望へと創造されて」と展開する。講師Ⅱ関正勝司祭。受講料Ⅱ3千円(1回の場合は8百円)。詳細の照会と申込みは事務局03(3671)9215宛に。

《今、この教会では…》

阿佐谷聖ペテロ教会

様々な個性的な商店と住宅が隣り合わせになった町、阿佐谷。そんな阿佐谷名物のひとつに毎年10月に開催される阿佐谷ジャズストリートがあります。私たちの教会も地域に開かれた教会をとの考えのもと毎年、演奏会場として開放しており、教会建物ならではの音響の素晴らしさは演奏者や来場者に喜ばれております。これを機会に礼拝へ参加して下さる方もおり、私たちの教会をご存じなかった方々に、多くの知名度向上効果が発揮されています。これからも地域密着の教会として多くの方々に親しまれる教会でありたいと願っております。

(大山義幸)

▽聖公会神学院教会音楽集中講義 9月5日・6日(水・木) 各10時50分〜15時・午前午後の2セッション「わたしたちの『聖歌集』」今、これからの聖公会の礼拝・宣教・音楽の可能性」講師Ⅱ宮崎光司祭(清瀬聖母教会)・加藤啓子(東京聖三一教会オーガニスト)。聴講料1セッション2千円。事前レポーター提出要。照会・申込み電話03(3701)0575。

▽教区正義と平和協議会『平和メッセージ』発行 8月5日に配付予定。A5版4頁建て。1面で「祈り」を、4面には「子ども向けメッセージ」が。

▽礼拝音楽委員会『聖歌集』を歌う会(8月10日〜11日・軽井沢立教女学院キャンプ場Ⅱ既

報) 申込みは本日中。清瀬聖母教会宛、電話042(491)1239。

◇8月の代禱・信施奉献先

▽日本聖公会青年活動のため▽在韓被爆者救援のため▽諸聖徒幼稚園のため▽薬物依存リハビリ施設の働きのため

《奉献先から》

薬物依存リハビリ施設

〈東京ダルク〉

ダルク(DARC)は、ドラッグ・アデイクション・リハビリ・センターの略表記で、1985年に東京に開設された日本で初

めの民間の薬物依存症回復支援施設。回復していくための共同生活の場、時間、回復者モデルを提供し、プログラムによって「今日一日、薬物のない新しい生き方」の実践に取り組んでいる。現在、全国で40カ所以上のダルクが回復者により運営され、約5百人の薬物依存者が社会復帰にむけ努力している。20年間1日も休まず開所してきたが、資金減少のため5名だったスタッフを4名にせざるを得ない現状にあり、土・日曜も休まず開所し続けていくために支援を呼び掛けている。

▽NCC全国教会教育フェスティバル 日本日曜学校協会として設立された現NCC教会教育部は今年、百周年を迎え、超教派の全国の日曜学校を対象に記念大集会を企画し、昨春来、日本聖公会東京教区からも実行委員(SSS今井信子)を派遣して取り組んできた。9月16日(日)18時半〜17日(月・休)16時、ホーリネス教団淀橋教会(新宿)。

テーマ「種をまこう!」、12分科、定員百50人、参加費3千円。各日曜学校宛に呼び掛け中、7月末申込み締め。

▽ヨルダンでのボランティア

活動訪問団 エルサレム教区協働委員会主催により8月28日(火)、関西国際空港から出発す

る。エ教区との交流活動の一環で、委員長・神崎雄二司祭を団長とする13名。最初の1週間を諸教会・聖地を巡った後、残りの3週間をヨルダンの首都アンマンの西方・ソールトにある視聴覚障害者施設で清掃、畑仕事、ペンキ塗り、子どもたちの遊び相手など、両国文化を交歓し合いながらのボランティア活動。9月22日(土)に帰国予定。なお、5人の学生・青年の参加費(1人31万円)を幾分かでも援助できればと、主催委員会で募金を呼び掛け。詳細は各教会・礼拝堂宛の趣意書参照(8月末日締め)。

悟郎司教(カトリック大阪大司教区補佐司教・カトリック正義と平和協議会会長・憲法9条を世界の宝にピース9の会呼び掛け人)。9月1日(土)14時〜16時、聖アンデレ教会。参加費5百円。協賛団体Ⅱ教区正義と平和協議会、聖公会平和ネットほか多数。照会は管区事務所宛に、電話03(5228)3171。

▽中越沖地震被災医療支援 聖路加国際病院から20日〜29日、3医療班が順次派遣された。

▽8月ランチタイムコンサート

・聖パウロ 10日(金)12時20分、オルガンⅡ中川紫音

・神田キリスト 15日(水)

12時20分、オルガンⅡ小島弥寧子 *いざれも30分程度・入場無料・聖テモテⅡ休演